

会 議 錄

会議の名称	令和7年度 第3回上尾市スポーツ推進審議会			
開催日時	令和7年12月4日(木) 10時00分~11時20分			
開催場所	上尾市役所議会棟4階 第3委員会室			
議長(委員長・会長)氏名	遠山 正博 会長			
出席者(委員)氏名	篠原文子委員・樋口敦委員・中村清治委員・柳瀬義弘委員・萩原康彦委員・栗田尚委員・山下文孝委員・柳澤昌秀委員・桑原明子委員・武藤政春委員			
欠席者(委員)氏名	只隈伸也委員・三日月桂子委員・根本和彦委員			
事務局(庶務担当)	加藤教育総務部長・池田同次長・栗原スポーツ振興課長・長澤同副本幹・川上同主任・浅野同主事 株式会社環境総合研究所 大谷・藤田			
1 議題				
(1)第3期上尾市スポーツ推進計画素案について (2)その他	質疑・意見は議事録のとおり			
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 1名		
会議資料	別添のとおり			
議事のてん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。				
令和7年12月25日				
議長(委員長・会長)の署名 <u>遠山正博</u>				

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>それでは、令和7年度第3回上尾市スポーツ推進審議会を始めさせていただきます。はじめに、遠山会長より開会のご挨拶を頂戴したいと存じます。</p> <p>遠山会長あいさつ</p>
事務局	<p>2 議題</p> <p>委員総数15名のうち、本日の審議会には11名のご出席をいただきておりますので、会議の開催要件を満たしていることをご報告いたします。</p> <p>上尾市スポーツ推進審議会条例 第6条 第3項の規定により「会長は審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。」こととなっておりますので、以降の議事進行を遠山会長にお願いいたします。</p>
遠山会長	本日の案件で非公開事項に該当するものがあるかどうか、事務局にお伺いします。
事務局	はい、本日の案件の中には、非公開事項に該当する議案はございません。
遠山会長	それでは、本日は非公開とする議案はないということで進めさせていただきます。本日、傍聴を希望する方はいらっしゃいますか。
事務局	傍聴者が1名いらっしゃいます。
遠山会長	事務局の方、傍聴者を入場させてください。
	傍聴者入場 ※注意事項を説明
	(1) 「第3期上尾市スポーツ推進計画素案について」
事務局	それでは、議題(1)「第3期上尾市スポーツ推進計画素案について」事務局より説明をお願いします。
事務局	事務局説明 (資料2・3)
遠山会長	ただ今、事務局より説明をいただきましたが、委員の皆様から、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。
	ご質問等をお受けし、修正できるものは修正し議題を進めていきたいと思います。特に学校関係、各スポーツ関係、スポーツ少年団、各連盟協会等からのご意見は真摯に受けとめていきたいと思います。
桑原委員	32頁と45頁の中学生の数値目標の根拠を教えてください。また、これは達成できるのでしょうか。目標はどのように設定したのでしょうか。
事務局	数値は年々下がっており、コロナを通してより下がっている状況です。指導課とも話し合いを重ね、県に合わせて目標値を定めました。
桑原委員	コロナ禍が原因ということは分かりました。上尾市の計画なので市として達成できるのでしょうか。評価に対する目標設定の説明があると市民の方も分かりやすい

	と思いました。また、28頁、第2期計画の評価については、AからDがいくつあるのか、それぞれをまとめたものがあると、より親切かと思いました。併せてご検討いただけたらと思います。
遠山会長	市民が見て分かるような配慮が必要であろうかと思いますので検討してください。
事務局	28頁におきましては、A～Dの個数を分かりやすく表示させていただきたいと思います。先程ご質問いただいた中学校の数値目標の件ですが、31頁をご覧ください。「子どもの体力向上に向けた地域連携が不十分」というところを課題として認識しております。これに対して、上尾市児童生徒体力向上推進委員会と連携して実践的な研修を重ねながら体力改善を図り、数値目標に近づくように進めていきたいと考えています。補足の説明とさせていただきます。
桑原委員	ぜひその説明を載せると、市民の方も分かりやすいと思いますのでよろしくお願いします。
樋口委員	28頁、第2期計画の評価結果は達成しているものが多いのに、目標値に対しては未達成のものが多い状況になっています。評価の部分と数値の部分がリンクされているのかどうか疑問に思いました。整合性やリンクされているのかについてお伺いしたいです。半数以上は達成されているように読み取れます。
事務局	評価につきましては、評価に至った成果と一部分の課題を掲載しております。こちらにつきましては第2期の計画に対する評価でしたので、第2期の計画水準に合わせ達成状況について評価をした、という考え方で記載しております。評価「A」が29頁と31頁にそれぞれございますが、こちらにつきましては第2期に掲げていた部分について達成が上回ったという状況を判断した結果でございます。第3期に向け、A評価のものについては施策の拡充拡大を考えていかない、というものではなく、時代背景やニーズに合ったものに対してさらに必要な施策を拡充拡大していくということで、第3期の計画は整理していきます。
樋口委員	評価の部分のA B C D判定の仕方は合っているのかと思ってしまいました。どういう判定をされているのですか。例えば28頁、基本目標1に対するB判定は、明確な数字の基準があり、それを達成しているからBなのか。それとも内容を見て「できている」と思っているからBがついているのでしょうか。
事務局	評価の考え方は、概ねの達成状況等を確認したなかで総合的な見方として、評価の凡例に沿ってつけました。それぞれの個別の数値目標はありますが、この評価に対して掲げている数値目標に対する達成度も評価の要素として入れておりますが、全てがそこだけの判断ではなく、総合的にみて評価をつけました。
山下委員	45頁、中学生の目標値について。今まででは男女差はありますが、中学生の半数以上が運動部活動に所属していました。しかし朝練習がなく、午後の練習の時間の制約もあり、土日も地域へ展開する方向性を国が示しているなかでこの数値は無理だと思います。週3時間の体育の授業だけでは体力向上につながっていないことは明確であると思いますので一考ください。
	また、上尾市教育委員会の調査報告書のなかには、質問のあった内容について非常に明確に書いてあります。例えば成果、課題、今後の方向性、目標、施策に対する評価等細かく書いてありますので参考にしていただければと思います。気がついた事として提案ですが、目次部分の第1章「計画」「上尾市」を繰り返し表示する必要はあるのか。第2章「上尾市のスポーツの現状と課題」の1は「社会情勢」2は「環境」という言葉だけでまとめられるのではないか。3は「スポーツ施設の状況」だけではだめなのか。4は「市民」という文字は必要なのか。第3章「施策」、

	<p>第4章「推進」など同じ文言が重なっていいのか。15頁、市民のアンケート回収率35.7%の数値は統計上の数値として取り上げていいものなのか疑問を持ちました。32頁、「取り組み」という文言の統一性をお願いしたいと思います。37頁、意見ですが、今後、施設の抽選方法の改革、第二体育館の建設について考えていただければと思います。51頁、小学校体育連盟会長、中学校体育連盟会長について何月何日時点でのものか確認をお願いします。52頁、「第2回上尾市スポーツ推進審議会（書面開催）」の日付（何日か）を入れたほうがよいのではないでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見やご提案、ありがとうございました。目次の文言につきましては、表現について今一度調査をし、必要な部分については修正を図らせていただきたいと考えています。</p> <p>また、確認をしたなかで色々と漏れがあり申し訳ございませんでした。「取り組み」などの文言整理につきましても、ページに関わらず全体を確認したうえで整合性がとれた文言の表現に修正させていただきます。37頁でご要望いただいたご意見につきましては、施策の展開のなかで検討を進めていきたいと考えています。市民アンケートの回収率が統計上の有効なものになるのか、についてはコンサルからお願ひします。</p>
事務局（大谷）	<p>この回収率は、我々が色々なアンケート調査をさせていただいたなかで得られる数字としては標準的なものです。40%を超える回収率はなかなか得られませんので、今回の回収率は悲観的な数字ではないとみています。</p> <p>得られた調査結果の信憑性についてですが、一般的なアンケート調査は組織全体に対してサンプリングというかたちでピックアップされた方に対して調査を行うので、得られた結果については必ず誤差が入ってきます。今回は18歳以上の市民の方なので、上尾市として20万人近くの組織に対して3000人にアンケートを送り、1000名程度の方に回答いただきました。アンケートに出てきた数字の信憑性というのは、組織の大きさに対して、何人の方に回答していただいたかという相対的な関係で決まります。設問と選択肢に対して何%の方が回答しました、ということで報告書に掲載しますが、統計学的に言えば、その数字を基準にして、プラスマイナス何%の範囲の中に正解がありますと何%の確率で言うことができますという意味がこめられた数字になっております。統計学上、一般的な基準は、回答率が50%の時に実際には45%から55%の間に本当の答えが95%の確率であると言って差し支えない、という見方をします。その見方をするために必要な回収数は約400件弱です。20万人弱の組織から400人弱の回収率があった場合に、先程申し上げた基準でこの数字は信じて良いということが言えます。今回のアンケートの結果ですと、その基準は十分満たしていると判断しています。</p>
栗田委員	<p>日曜日に運動部活動をやりたいけれどできない状況になっています。部活動地域移行の措置のなかで、上尾市内でそういった実態が多数あるのではないかと思います。</p>
遠山会長	<p>教職員の働き方改革に基づいて現状が変わっています。いかにして市民のスポーツ向上につなげるのでしょうか。スポーツ推進委員さんとしてはどうでしょうか。</p>
萩原委員	<p>連絡協議会としてはスポーツ機会を多くしようと考えており、ミニバレーやディスクドッヂの体験会を一般市民や小学生を対象に行ってています。高齢者については8~9か月の連続講座を行っています。かなりの人数が来てくれていますが、50人の推進委員の中で指導ができる委員が限られており、受け入れ態勢として難しい部分があります。中学生の数値目標として89%はかなり無理があると思います。県の数値は関係なく、上尾市の現状をみたうえで数値目標は立てるべきだと思います。中学校の部活地域展開については、拠点が増えてくれればスポーツ機会は増えるのでしょうか、今の中学生のスポーツ機会は減っています。小学生も同じだと思います。</p>

栗田委員	行き場のない野球部員が団地の広場に来て野球をしているという実態があります。サッカーやソフトボール、バドミントンも同様です。そのような状況はすごく多いです。部活動地域移行措置の弊害が起きていると感じます。
遠山会長	中学生の数値目標は努力目標なのか、計画目標なのでしょうか
柳瀬委員	小学校で体力をつけず、中学校に行き体力をつけるのは難しいと思います。そこから考えていかないといけないと思います。施設の拡充や、使用の際の確保の仕方などについても考慮していただきたいです。
遠山会長	小学生、中学生の体力が落ちているなかでこの数値目標を確保しなければ、子どもたちの体力低下は助長されるということです。目標値として達成していかなければ体力が落ちてしまうという考え方でいいでしょうか。
事務局	達成に向けて施策展開していくところですが、今回の審議会のご意見としては、上尾市としての目標設定が望ましいということでした。小中学生の数値目標は学校教育部との協議結果を踏まえているものですので、今一度検討いたします。
遠山会長	教育委員会と連携をとりながら進めていただきたいと思います。
武藤委員	評価は極めて公平で第三者が見てもわかるようにしてほしいです。項目ごとの評価基準をきちんとしておかないと、第三者が見て疑問に感じます。抽象的な表現で終わってしまうと、第三者は納得できないと思います。ひとつの目標指標を設定し、それをクリアしたかどうかではないでしょうか。分かりやすい評価をしていただきたいです。
柳澤委員	評価は良いのに目標が達成できていないということは、そもそも施策が違っていたということになってしまいます。これは誰が評価したのでしょうか。
事務局	基本的には教育委員会が実績に基づいた評価をし、審査期間の中でご意見を頂戴しながら修正していく考えです。
柳澤委員	施策が違ったということになってしまふと思います。これだけ目標数値が達成できていないということは、そもそもやっていたことが違っていたということになってしまふと思います。数値目標が達成できていないことに対して原因分析がなされていないという話になってしまいます。評価があり、結果があつて、原因分析ができていないから、次の施策がこれでうまくいくのかが全く分からないです。委員の意見は、実態を把握していないのではないか、ということだと思います。休日部活動についても実態を把握しないと施策が分かりません。抽象的な表現もあるので、原因分析も含めて今一度まとめてもらう必要があると思います。他の市区町村の状況の事例も盛り込まないと分かりにくくいました。
事務局	評価の基準について対外的に説明できるような評価基準をもう少し明確にし、この計画の中でも読み取れるようなかたちで検討していきたいと思います。市民に理解を得やすい見せ方、評価基準を検討していきたいと思います。
樋口委員	24頁のアンケート結果を見ても、「スポーツをすることができる場所や施設が充実すること」が1番に挙げられているなかで、37頁「学校開放施設の整備」に関しては改修や更新、メンテナンスの部分しか挙がっていません。予算に関わるものですが、この審議会の中でも「場所を充実してほしい」という声もありましたので、場所の整備に関して明記したほうがいいのではないでしょうか。 また、アーバンスポーツについての施策の展開に関して何も触れられていないと思います。実際に施設を検討していることもありますので、場所の充実とい

	う意味では計画に加えてもいいのではないかと思いました。40 頁に「スポーツ健康都市宣言」とありますが、市として力を入れている「あげお健康プラス」の具体的な事業名を入れると分かりやすいのではないかと思いました。
篠原委員	ひとつだけ要望です。基本理念の中に「する・見る・支える」とありますが、プロスポーツチーム「埼玉上尾メディックス」の試合開催の周知をお願いしたいです。今までもやっていたかと思いますが、もっと埼玉上尾メディックスを活用し、学生だけではなく市民にもアピールしていただき、身近なものにしていくことが大事だと思っています。本市にも良いスポーツチームがありますので、検討していただければと思います。
事務局	場所の整備につきましては、予算の確保やどういった時代ニーズがあるのか、というところも必要になってきます。アーバンスポーツにつきましては、若い方を中心ニーズが上がってきていますので、アーバンスポーツだけに限らず時代ニーズに合わせたかたちの整備、スポーツを「する」ための施策を示せていただければいいのではと考えています。「あげお健康プラス」につきましては健康増進課が所管になりますので、意見を聞きながら計画の中に入れ、市民の方が理解しやすい表現を検討していきたいと思います。本市にゆかりのある埼玉上尾メディックスを市民の方に浸透していければという想いは我々もあります。プロアスリートの方々と交流することによって、スポーツに興味のない方がそれをきっかけにスポーツの楽しさや機運醸成に結びつく部分もあると思います。おっしゃっていただいた意見は今後の展開の中で積極的に検討していきたいと考えています。
中村委員	現状分析も必要ですが、それに基づいて「何をしよう」というものがないといけないと思います。目標は高ければ高いほど良く、達成できるかできないのか、達成可能なものを設定したのか、達成は困難だけど設定したのかなど色々な考え方があります。11 頁に上尾市小中学生の体力総合評価の推移グラフがありますが、どうしたらこの数値が上がるのか、「何をするのか」がこの計画の中で読み取れません。どこにあるのか教えていただきたいです。
柳澤委員	中村委員がおっしゃるとおり、具体的にどのくらい施策をやるのかという話がありません。団体数を増やすのであれば何団体増やすのか、というものがないとひとつひとつの施策は実現していかないと思います。行政のやり方は分かりませんが、通常はそれぞれの施策に具体的な数値目標があり、それを達成していくと全体として達成できるというものです。踏み込まないと前回と同じように数値目標は達成できなかったということになってしまうと思います。もう少し具体的なところに踏み込む必要があると思います。
中村委員	11 頁のグラフに対して具体的に何をするのかという計画はどこに書かれているのか教えていただきたいです。
遠山会長	市民がこの冊子をみて分かるような数値と目標値を入れ、かつ達成できるであろう数字にしていただければと思いますがいかがでしょうか。
事務局	ご意見はしっかりと受け止めさせていただきます。この計画を見て市民の方が理解しやすいようなかたちにします。施策についてはより具体的に触れ、評価しやすいかたちにいたします。
桑原委員	他の計画には何かを「検討する」という文言が入っていることがあります。検討もしていないのか、検討はしているのか、というところをみせたほうがいいのではないかと思います。若い人達の意見を市は検討しているということを計画の中にいれておくことは大事なのではないかと思いました。

遠山会長	大変難しい問題です。どうお考えですか。
樋口委員	具体的にならないと明記できないということかと思います。
遠山会長	他にご意見等がないようですので、議題（1）第3期スポーツ推進計画（案）については、本日各委員からあった意見等を検討していただくことで終わりにします。
	(2)「その他」
	次に、議題（2）その他について、事務局からございますか。
事務局	<p>今後のスケジュールについてお伝えいたします。本日委員の皆様から頂戴したご意見等を反映させた上で、12月22日～1月21日の期間で、本計画案について市民コメント制度によるパブリックコメントを実施する予定です。</p> <p>その後、市民コメントのご意見を取りまとめた上で、2月6日（金）に予定しております、第4回の審議会で最終案のご審議をいただき、3月24日の教育委員会3月定例会の決議を経ていく予定でございます。</p> <p>本日いただいたご意見を整理し、パブリックコメント前に各委員へ反映したものをお送りしたいと考えております。すべて修正できるか明言はできませんが、小中学生の目標値については学校教育部、指導課と協議します。今日いただいた意見を全て反映したものとしてパブリックコメントの前に公開するお約束はできませんが、修正できない理由もメモとして入れるかたちで整理をして、パブリックコメントの前に委員の皆様にお送りしたいと考えています。また、それを踏まえてパブリックコメントを実施していきます。パブリックコメント期間中にも委員の皆様から意見を承ることは可能です。委員の皆様、ご了解をいただければと思います。</p>
事務局	いただいたご意見につきましては、改めて整理をし、数値目標、評価基準と施策が結びつくかたちで第3期計画最終案を進めてまいりたいと思います。
遠山会長	全ての審議がおわりましたので議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。
	3閉会
事務局	<p>遠山会長におかれましては、スムーズな進行ありがとうございました。</p> <p>それでは、これをもちまして「令和7年度第3回上尾市スポーツ推進審議会」を終了いたします。</p>